

概要

- 漁業者の減少等による漁港の低・未利用地を集約しグランピング施設・展望レストラン等を整備することにより、漁港に水揚げされる水産物の新たな販路を獲得
- 漁船クルージングや漁師体験等、漁業に触れることの手を確保することにより新たな担い手を確保
- 既存施設と民間資本を活用した新たな施設との相乗効果によりインバウンドや観光客の増加
- 都市住民や学生、海業に取り組む他の地区と連携できる拠点をつくることにより、生業の維持のみならず漁村集落における生活機能維持のための人的リソースを確保



海業の取組概要



低・未利用魚の活用



地域のにぎわい拠点の整備



協力体制

- ・紀州日高漁業協同組合
- ・観光協会
- ・漁業振興協議会
- ・商工会
- ・自治会
- ・南部川漁業協同組合
- ・農業振興協議会
- ・みなべ川森林組合
- ・地域活動団体

スケジュール

- 令和8年度 海業推進協議会（仮）設置
海業取組促進事業実施
活用推進計画の策定
- 令和9年度 認定計画実施者の決定



漁師体験



海を舞台にした各種イベント



他地区との連携